

Jet Stream

IBM PC/AT版

(DOS/V)

導入・環境設定マニュアル

目次

製品概要	1
製品内容	1
動作環境	1
ハードディスクへの導入	3
Windows 95 プリインストール機へのインストール	3
MS-DOS へのインストール	7
起動ディスク作成について	9
Windows 95 における起動ディスクの作成	9
JetStream の起動	11
基本的な操作	13
設定メニュー	13
操作上の PC-9821 版からの改良点	15

ご注意

本書では、IBM PC/AT 版を取り扱って頂く為のユーザーズマニュアル（PC-9821 版）との相違箇所について記載致します。「遊び方」及び「ユーザーサポート」につきましては、ユーザーズマニュアル（PC-9821 版）をご覧ください。

◆製品内容

本製品には以下の物が入っています。開封された際にご確認ください。

- | | |
|-----------------------------|----|
| ・インストールディスク | 2枚 |
| ・ユーザーズマニュアル（PC9821用解説書） | 1冊 |
| ・導入・環境設定マニュアル（IBM PC/AT版）本書 | 1冊 |
| ・アンケートはがき（登録はがき） | 1枚 |

◆動作環境

必要環境：IBM-PC/ATおよびその100%互換機

- ・CPU → 最低：i486SX / 33 MHz以上
推奨：i486DX4 / 100 MHz以上
- ・ビデオカード → VESA SVGAモード101H(640×480×256色)をサポートしたもの
- ・3.5"2HD(1.44MB)が読み書き可能なフロッピードライブ
(インストール時に必要、フロッピーディスクでのプレイはできません)
- ・DOS/V日本語モード専用です。

※環境によりましては別途SVGAドライバーが必要になる場合がございます。

その場合ドライバーはおお客様がご用意ください。

(弊社ではSVGAドライバーに関するサポートは致しておりません。予めご了承ください)

◆動作確認機種

IBM APTIVA J31, 720, PS-V Vision(model 2408)
FUJITSU FMV-5100D4, FMV-5100DPC, FMV-410DC2, FMV-466D3
COMPAQ PRESARIO 8716

(1996年11月現在)

◆OS

IBM PC DOS バージョン J6.3/V
日本語MS-DOS バージョン 6.2/V
日本語Windows95(シングルMS-DOSモード)

*上記以外のOS及びバージョンでの動作は保証いたし兼ねます。

◆必要メモリ

コンベンショナルメモリ560KB以上 + EMSメモリ4MB以上
(PCMとBGMをオフにする場合は500KB以上)

◆ハードディスク使用容量

5MB以上の空き容量が必要です。

◆対応周辺機器

◎アナログジョイスティック

SideWinder 3D PRO(Microsoft製)

SideWinder(Microsoft製)

FS Master (KAZU SPIRIT INC. 製)

JC-BA20 (ELECOM 製)

◎ サウンドカード

Sound Blaster16, Sound Blaster AWE32, Sound Blaster 32

◎ M I D I

・ インターフェイス

MPU-401, Sound Blaster16 (Joystick/MIDIポート)

・ 演奏音源

Roland SC-55 (または上位互換のGS音源)

◎ マウス

PS/2マウス

(他のマウスを使用する場合には別途対応したドライバが必要になります)

◆ 備考

◎ Windows95環境下での動作について

Windows95をご使用で、下記の条件を満たしている環境下のシングルモードMS-DOS画面にてゲームをお楽しみいただけます。

・ 上記に記載されている「動作環境」「必要メモリ」「ハードディスク使用容量」を満たしているもの。

◎ Windows95動作確認機種

上記Windows95環境下において、以下の機種で動作確認を行っております。

下記以外の機種や上記以外の環境における動作保証は致しません。

また、ご使用の環境などによりましては、ご質問にお答えできない場合がございます。予めご了承くださいませようお願い致します。

IBM APTIVA 720

FUJITSU FMV-S165, FMV-5120DPC, FMV-5150DPS, FMV-466D3

EPSON VIVIDY VM516T

TOSHIBA BREZZA 5133MB

(1996年11月現在)

ハードディスクへの導入

「Jet Stream」IBM PC/AT版(DOS/V)をご使用になる前に

本製品はハードディスク専用となっております。

次の手順でお客様のハードディスクへのインストール(導入)作業を行ってください。

なお、本節はWindows 95プリインストール機のMS-DOSモード上で起動する場合と、MS-DOS上で起動する場合の2通りに分けて説明致します。

ご使用のOSがWindows 95プリインストール機の場合には「Windows 95プリインストール機へのインストール」の項を、MS-DOSの場合には「MS-DOSへのインストール」の項を、それぞれご覧ください。

●Windows 95プリインストール機へのインストール

①パソコンの電源を入れてWindows 95を起動します。

②次のようにしてMS-DOSモードへ移行します。

タスクバーの「スタート」ボタンを左クリック



(「スタート」メニューが開きます。)

[メニュー画面] から「Windowsの終了」を左クリックします。



[Windowsの終了画面] から「MS-DOSモードでコンピュータを再起動する」をチェックする。



選択アイコンの「はい」ボタンを左クリックします。

以上の手順を行うことによりコンピュータを再起動した後、MS-DOSモードへ移行することができます。

※ご注意 インストールプログラムは必ずMS-DOSモードでご使用ください。
「MS-DOS プロンプト」では正常に動作致しません。

③フロッピーディスクドライブに「Jet Stream」ディスク1を挿入してください。

④コマンドプロンプト上でキーボードから次のように入力します。

```
C : > A:INSTALL [Enter]
```

⑤次にシリアル番号の入力画面になります。ディスク1に刻印してあるシリアル番号(SNo)を入力してください。

ここから先は画面の指示にそって進めていきます。

⑥インストール先のドライブ、ディレクトリ名を指定します。

初期値は“C:\VJSV”(実行環境によってドライブ名は変わります)になっていますが、インストール先のドライブ、ディレクトリ名は変更できます。しかし特別な理由(同一のディレクトリ名が既に存在する等)がない限りディレクトリ名は初期値より変更しないで下さい。

変更後は [E n t e r] キーを押して下さい。

[ESC] キーを押すとインストールを中止します。

※ディレクトリ名変更のご注意!

- ・ディレクトリ名は半角で最大8文字まで入力できます。
また、ディレクトリ名に全角文字は使用できません。ご注意ください。
- ・指定したディレクトリが既に存在する、しないに関わらずインストールは行われますが、既に存在する場合は、そのディレクトリ内のファイルと、インストールされるファイル名が同一の場合、上書きされ元から存在するファイルは消去されます。

⑦BGMの音源を選択します。

OFF: BGMを演奏しない場合(サウンドブラスター、MIDI音源がない場合も含む)

SB16/AWE32/32: サウンドブラスター16/AWE32/32搭載のFM音源でBGMを演奏する場合

MPU-401MIDI: MPU-401互換MIDI I/FにMIDI(GS規格)音源を接続してBGMを演奏する場合

[←][→]キーで選択し[E n t e r] キーまたは[↓]キーで決定します。

[↑]キーを押すと一つ前の設定項目に戻ります。

[ESC]キーを押すとインストールを中止します。

以下操作方法は同一です。

- ⑧⑦でOFFを選択した場合は⑩に進み、⑦でMPU-401MIDIを選択した場合は⑨に進んでください。⑦でSB16/AWE32/32を選択した場合はサウンドブラスターのベースアドレスを選択します。

初期値のベースアドレスでゲーム中にBGMが演奏されない場合以外には変更しないで下さい。

- ⑨MIDIポートのベースアドレスを選択します。

初期値のベースアドレスでゲーム中にBGMが演奏されない場合以外には変更しないで下さい。

⑩効果音(サウンドブラスターDSP)のON/OFFを選択します。

OFF: 効果音を再生しない(サウンドブラスターがない場合も含む)

ON: サウンドブラスターDSPで効果音を再生する

⑪⑩でOFFを選択した場合は⑭に進みます。⑩でONを選択した場合はサウンドブラスターDSPのIRQ(割り込み番号)を選択します。詳しくはサウンドブラスターのマニュアルを参照してください。

⑫サウンドブラスターDSPのDMAチャンネルを選択します。他の周辺機器で使用されていないDMAチャンネルを選択して下さい。特にハードディスクで使用するDMAと衝突した場合ハードディスクを破損する恐れがあります。

⑬インストールの実行/設定変更を選択します。

実行: ファイルの転送を開始

ディスク1~2まで順番にインストール作業を行います。

画面の指示に従って、フロッピーディスクを差し替えて下さい。

変更: インストール先の入力に戻る

⑭Windows95へ戻ります。

コマンドプロンプト上でキーボードから次のように入力してください。

A : >EXIT [Enter]

⑮Windows95上から「Jet Stream」を起動できるように設定します。

次のような手順で設定を行ってください。

※ここでは、インストールしたフォルダー名をデフォルト(C:\¥JSV)として設定を行っています。

タスクバーの「スタート」ボタンを左クリックして「スタート」メニュー画面を表示します。



「スタート」メニューから「プログラム」のところへマウスカーソルを持って行くと右側に「プログラム」メニューが表示されます。「プログラム」メニューから「エクスプローラ」を選択して左クリックしてください。



エクスプローラ上に表示されたフォルダーから「Jet Stream」をインストールしたフォルダ「JSV」を探し出して左ダブルクリックします。

↓

「JS」フォルダー内のプログラム名が表示されますので、その中から
”JS.EXE”を探し出して、その上にマウスカースルを持っていき右クリックして
ください。

↓

開いたメニューの中から「プロパティ」を左クリック。

↓

タグメニューの中から「プログラム」を左クリック。

↓

「詳細設定」のボタンを左クリックして詳細設定画面へ移行してください。

↓

「MS-DOSモード」のチェックボックスをクリックしてチェックマーク（レ点）
をつけてください。（新たな3つの選択項目があらわれます）

↓

新たにあらわれた3つの項目の中にある「新しいMS-DOS設定を指定する」の
チェックボックスをクリックしてチェックマーク（黒点）をつけてください。

↓

ウィンドウの右下にあらわれた「設定」ボタンを押します。
EMSメモリやマウスなどのMS-DOSで使用するオプションを設定する画面が
表示されます。

↓

表示されたオプションの中で「EMSメモリ」と「DOS/Vドライブ」の項目の
みにチェックマーク（レ点）がついている状態にしてください。
チェックマークがついていることを確認した後、OKボタンをクリックします。

↓

「MS-DOSモード用のCONFIG.SYS ファイル」の欄にEMM386.exeが設定され
ていることをご確認の上、OKボタンを左クリックしてください。

↓

最後に「パッチファイル」の項のとなりに「DOSIME」と表示されている場合は、
「DOSIME」ののところまでマウスカースルを持っていき、左クリックします。

↓

カーソルがあらわれたら「DOSIME」の表記を”BS”キーまたは”DEL”キー
で削除して何も表示されていない状態にしてください。

↓

OKボタンを左クリックしてプロパティの設定を終了してください。
ウィンドウが閉じた後、同じフォルダ内に「Jet Stream」（JS）のショートカット
ができている事を確認してください。

●MS-DOS へのインストール

- ①「Jet Stream」をインストールしたいハードディスクからMS-DOSを起動して、コマンドプロンプトの状態にします。

(メニュー画面が表示される時は、終了して”A>”の状態にしてください。)

- ②フロッピーディスクドライブに「Jet Stream」ディスク1を挿入してください。

- ③コマンドプロンプト上でキーボードから次のように入力します。

```
C : ¥>A: [Enter]
```

- ④次にシリアル番号の入力画面になります。ディスク1に刻印してあるシリアル番号(SNo)を入力してください。

ここから先は画面の指示にそって進めていきます。

- ⑤インストール先のドライブ、ディレクトリ名を指定します。

初期値は”C:¥JSV”(実行環境によってドライブ名は変わります)になっていますが、インストール先のドライブ、ディレクトリ名は変更できます。しかし特別な理由(同一のディレクトリ名が既に存在する等)がない限りディレクトリ名は初期値より変更しないでください。

変更後は[Enter]キーを押して下さい。

[ESC]キーを押すとインストールを中止します。

※ディレクトリ名変更のご注意!

- ・ディレクトリ名は半角で最大8文字まで入力できます。
また、ディレクトリ名に全角文字は使用できません。ご注意下さい。
- ・指定したディレクトリ名が存在する、しないに関わらずインストールは行われますが、存在する場合はそのディレクトリ内のファイル名とジェットストリームで使用するファイル名が同一の場合上書きされ元のファイルは消去されます。

- ⑥BGMの音源を選択します。

OFF: BGMを演奏しない場合(サウンドブラスター、MIDI音源がない場合も含む)

SB16/AWE32/32: サウンドブラスター16/AWE32/32搭載のFM音源でBGMを演奏する場合

MPU-401MIDI: MPU-401互換MIDI I/FにMIDI(GS規格)音源を接続してBGMを演奏する場合

[←][→]キーで選択し [Enter] キーまたは[↓]キーで決定します。

[↑]キーを押すと一つ前の設定入力に戻ります。

[ESC]キーを押すとインストールを中止します。

以下操作方法は同一です。

- ⑦⑥でOFFを選択した場合は⑨に進みます。⑥でMPU-401MIDIを選択した場合は⑧に進みます。⑥でSB16/AWE32/32を選択した場合はサウンドブラスターのベースアドレスを選択します。
- 初期値のベースアドレスでゲーム中にBGMが演奏されない場合以外は変更しないで下さい。
- ⑧MIDIポートのベースアドレスを選択します。
- 初期値のベースアドレスでゲーム中にBGMが演奏されない場合以外は変更しないでください。
- ⑨効果音(サウンドブラスターDSP)のON/OFFを選択します。
- OFF: 効果音を再生しない(サウンドブラスターがない場合も含む)
ON: サウンドブラスターDSPで効果音を再生する
- ⑩⑨でOFF選択した場合は⑬に進みます。⑨でONを選択した場合はサウンドブラスターDSPのIRQ(割り込み番号)を選択します。詳しくはサウンドブラスターのマニュアルを参照して下さい。
- ⑪サウンドブラスターDSPのDMAチャンネルを選択します。他の周辺機器で使用されていないDMAチャンネルを選択して下さい。特にハードディスクで使用するDMAと衝突した場合ハードディスクを破損する恐れがあります。
- ⑫インストールの実行/設定変更を選択します。
- 実行: ファイルの転送を開始
ディスク1~2まで順番にインストール作業を行います。
画面の指示に従って、フロッピーディスクを差し替えてください。
変更: インストール先の入力に戻る
- ⑬全てのファイルを転送しますとインストール作業は終了します。
以上でインストール完了です。

●起動ディスク作成について（DOS/V版）

○起動ディスクについて

「Jet Stream」を遊ぶためにはコンベンショナルメモリー・EMSメモリーならびに、日本語表示機能を必要条件に合わせて確保しなければいけません。そこで、起動に必要なドライバーなどを設定した「起動ディスク」を作ることで、ゲームの起動を行うための環境を確保することができます。

○MS-DOS(PC DOS)における起動ディスクの作成方法

起動ディスクには最低限、以下のデバイスドライバーを設定してください。

- ・JFONT.SYSまたは\$FONT.SYS :
- ・JDISP.SYSまたは\$DISP.SYS :

各ドライバー共日本語表示をするためのドライバーです。

- ・EMM386.EXE :

EMSメモリーを確保する為のドライバーです。このドライバーで4MBのEMSを確保するようにしてください。

- ・マウスドライバー

PS/2マウス以外のマウスをご使用の場合には、ご使用のマウス専用のドライバーを設定してください。

なお、一部の機器環境ではVESA SVGA用のドライバを設定する必要があります。

この場合には、各コンピュータまたはビデオカードのマニュアルをご参考になりドライバの設定を行ってください。

(弊社では各環境におけるSVGAの設定方法に関するサポートは致しておりません。予めご了承ください。)

●Windows95における起動ディスクの作成方法

本製品にはWindows95がインストールされている機種において起動ディスクを作成するためのプログラム「MAKEBOOT.EXE」（MS-DOS画面で使用）を付属しております。このプログラムはWindows95上で作成したWindows95用の起動ディスクを一部修正して「Jet Stream」用の起動ディスクに作成するものです。

○Windows95での「Jet Stream」用起動ディスクの作成手順は次のようになります。

Windows95用起動ディスクの作成 → 本製品付属の「MAKEBOOT.EXE」プログラムで「Jet Stream」用起動ディスクへ修正

以下は、「MAKEBOOT.EXE」を使用して起動ディスクを作成する手順です。

なお、「Jet Stream」は予めインストールしておいてください。

また、フォーマットしてもよいフロッピーディスク(2HD)を一枚ご用意ください。

- ◆まずWindows95用の起動ディスクを作るため次の①～⑥の手順を行ってください。
- ①ご用意いただいたフロッピーディスクをフロッピードライブに差し込みます。
 - ②タスクバー上の「スタート」ボタンを押してください。
出てきたメニューの中から「設定」にマウスマウスカーソルを重ね、あらわれたメニューの中の「コントロールパネル」をクリックしてください。
(「コントロールパネル」のウィンドウが現れます)
 - ③「コントロールパネル」ウィンドウの中から「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックしてください。
 - ④「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウの中にあるタグから「起動ディスク」をクリックしてください。
 - ⑤「ディスクの作成」ボタンを押してください。起動ディスクの作成を開始します。
(Windows95のCD-ROMを要求される場合があります)
 - ⑥しばらくするとWindows95用の起動ディスクができあがります。

- ◆次に作成したWindows95用起動ディスクを「Jet Stream」用に修正します。次の⑦～⑩の手順を行ってください。

なお、上記手順で作成したWindows95用の起動ディスクは差し込んでおいてください。

- ⑦MS-DOSの画面(「C:¥WINDOWS>」などの状態)にします。
- ⑧「CD¥JSV」と打ち込んだ後、[Enter] キーを押してください。
(画面に「C:¥JSV>と表示されれば成功)
- ⑨「MAKEBOOT. EXE C:¥WINDOWS A:」と入力した後、[Enter] キーを押してください。

※通常的环境下では上記のようにご入力いただくと起動しますが、Windows95が導入されているドライブおよびディレクトリ名が「C:¥WINDOWS」ではない場合には、次の部分を変更してください。

- ・「C:¥WINDOWS」のところはWindows95が導入されているディレクトリ名(ドライブ名も含めて)をご入力ください。
- ・「A:」は起動ディスクを差しているフロッピードライブ名をご入力ください。

- ⑩しばらくすると「MAKEBOOT. EXE」プログラムが終了します。

MS-DOS画面からWindows95に戻ってください。

以上で、「Jet Stream」の起動ディスクの作成が完了です。

● 「Jet Stream」の起動

ハードディスクにインストールした「Jet Stream」の起動は次の手順で行います。

なお、本節はWindows 9 5プリインストール機のMS-DOSモードで起動される場合と、MS-DOSで起動される場合の2通りに分けて説明致します。

ご使用のOSがWindows 9 5プリインストール機の場合には「Windows 9 5から起動する場合」の項を、MS-DOSの場合には「MS-DOSから起動する場合」の項を、それぞれご覧ください。

なお、本節の例題はインストールしたディレクトリを「C:¥JSV」と仮定しています。お客様のハードウェア環境および、インストールしたディレクトリ名に合わせながらお読みください。

○Windows 9 5から起動する場合

①パソコンの電源を入れてWindows 9 5を起動してください。

②「Jet Stream」をインストールしたフォルダ(ディレクトリ)へ移動します。

(例)デスクトップにある「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

次にCドライブのハードディスクアイコンをダブルクリックします。

更に「JSV」と名前のついたフォルダを探してダブルクリックします。

③前節で設定したプログラムのショートカットをダブルクリックしてください。

コンピュータを再起動した後、MS-DOSモードに移行して「Jet Stream」が自動的に起動します。

(例)「JS」と名前のついたショートカットアイコンをダブルクリックします。

正常に起動しない場合は、ショートカットの設定をもう一度ご確認ください。

○MS-DOSから起動する場合

①「Jet Stream」をインストールしたハードディスクを使用可能にしてMS-DOSを起動してください。

(「起動ディスク」を作成された場合には、「起動ディスク」を挿入してコンピュータの電源を入れてください。)

②次に「Jet Stream」をインストールしたディレクトリに移動します。

(例)MS-DOSプロンプトから次のように入力します。

起動したハードディスクが”C”ドライブで、「Jet Stream」をインストールしたドライブも”C”ドライブの時。

```
C : > CD ¥JSV [Enter]
```

③最後にMS-DOSプロンプトで次のように入力します。

C:\¥JSV>JS [Enter]

以上の操作を行うと「Jet Stream」が起動します。

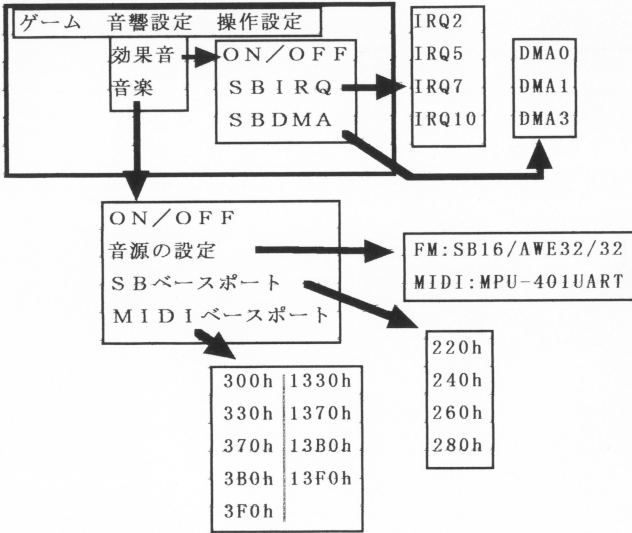


ここではPC-9821版と操作が違う【設定】メニューについて述べます。

【設定】メニュー

このメニューでゲーム全体の環境を設定します。

●音響設定メニュー



○「効果音」

- ・「ON/OFF」

効果音を発生させるかどうかを設定します。

「効果音」の横に表示されたメニューをクリックするたびに「ON」と「OFF」が切り替わります。

- ・SBIRQ

サウンドプラスターが使用する割り込み番号を指定します。

「JetStream」をインストールする際に、指定したIRQ番号を変更する際にご利用ください。

*IRQについては、音源のマニュアルをご参照ください。

- ・SBDMA

サウンドプラスターが使用するDMA番号を指定します。

「JetStream」をインストールする際に、指定したDMA番号を変更する際にご利用ください。

*DMAについては、音源のマニュアルをご参照ください。

○「音楽」

- ・「ON/OFF」

音楽を演奏させるかどうかを設定します。

このメニューをクリックするたびに「ON」と「OFF」が切り替わります。

- ・「音源の設定」

音楽演奏に使用する音源を設定します。

クリックした音源にチェックマークが付き、その音源が選択されます。

接続されていない音源は選択できません。

[FM:SB16/AW32/32]

サウンドプラスターに内蔵されているFM音源で演奏します。

[MIDI:MPU-401UART]

サウンドプラスターの外部MIDIポートやS-MPU, MPU-

401などに接続されているMIDI音源(GS音源)で演奏します。

- ・「SBベースポート」

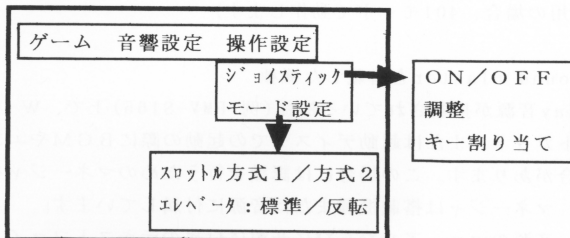
サウンドプラスターのベースI/Oアドレスを設定します。

*ベースI/Oアドレスについては、音源のマニュアルをご参照ください。

- ・「MIDIベースポート」

MPU-401のベースポートを設定します。

●操作設定メニュー



○「ジョイスティック」

- ・「ON/OFF」

ジョイスティックのON・OFFを選択します。このメニューをクリックする度に「ON」・「OFF」が切り替わります。尚、JetStream起動前にジョイスティックを接続していないと「ON」には設定できません。

「調整」以降は、PC-9821版の解説書をご参照ください。

操作上のPC-9821版からの改良点。

- ・ キーマウスのサポート

マウスカーソルは、カーソル移動キー（[→][←][↑][↓]キー）で移動できます。また[Shift]キーと併用すると移動量が増加します。左右のボタンはそれぞれ[S]、[D]キーに割り付けてあります。

- ・ メニュー画面での[ESC]、[Enter]キーのサポート

JSMENUで[ESC]キーを押すと終了ダイアログを開きます。その後[Enter]キーを押すとJSMENUを終了します。

また、JSMENUで[Enter]キーを押すと離陸空港選択画面になります。

- ・ 離陸空港選択画面での[ESC]キーのサポート

離陸空港選択画面で[ESC]キーを押すとJSMENUに戻ります。コクピット選択画面では[ESC]キーのサポートはありません。

- ・ MIDIインターフェース「S-MPU/AT」の対応

S-MPU/AT(Roland社製)をMIDI音源(SC-55互換)と接続して利用することができます。

なお、S-MPU/ATをご利用の際、環境によりS-MPU/ATとサウンドブラスターの共存ができない場合があります。この場合にはいづれかの音源をはずしてご利用頂くか、サウンドブラスター搭載のMIDI/JOYSTICKポートとのMIDI接続をご利用ください。(※S-MPU/ATをご利用の場合、401モードで動作します)

- ・ Plug and PlayのSound Blasterを搭載した機種

一部のPlug and Play音源が搭載されている機種(例:FMV-S165)上で、Windows 95のショートカット、または起動ディスクでの起動の際にBGMやエンジン音が演奏できない場合があります。この場合には認識を行うためのマネージャを組み込む必要があります。マネージャは搭載機種または音源に付属しています。組み込み方法などは、音源のマニュアルならびに音源に付属のテキストファイルなどをご参照下さい。

株式会社アクアシステム

〒860 熊本市花園3-7-23
TEL096-359-4178 FAX096-359-4708

【ユーザーサポート】

TEL096-289-2112 FAX096-289-2109

サポート時間 13時～17時（土・日・祭・祝は除く）